	日工業高等	等專門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	上級CプログラミングB		
科目基础						1 -22-151 11	<u>, </u>		
科目番号		33201			科目区分	専門 /	選択		
<u></u> 授業形態				単位の種別と単					
開設学科		情報工学科			対象学年	3			
開設期						2			
教科書/ 教	牧材	「新・明解	73-6624-2/「C	レゴリズムとデータ :言語によるはじめ		週時間数 2 構造」柴田望洋、辻亮介著(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN: このアルゴリズム入門 改訂第3版」河西朝雄著(技術評論社)、ISBN:			
担当教員		村田 匡輝	+1-3010-9						
<u>四五数页</u> 到達目相		17日 三/ 年							
イ)アル: ウ)配列* エ)同一(オ)スタ	ゴリズムとき や構造体をす の問題に対し ックやキュ・	データ構造がプ 理解し、様々な し、選択したデ ー、リストなど	ログラミングの要 データ管理に利用 ータ構造によって の基本的なデータ	基礎から上級までを 要であることを理解 目できる。 アルゴリズムが変 対構造を理解し、ブ 、アルゴリズムや	!する。 !化しうることを理 !ログラムで実現で	解している。 きる。	ಕಿる。		
ルーブ!	リック								
			最低限の到達レ	ベルの目安(優)	最低限の到達レベルの目安(良)		最低限の到達レベルの目安(不可)		
評価項目(ア)			C言語の文法とC言語によるプログラミングの基礎から上級までを理解し、プログラム作成に利用できる。		C言語の文法と グラミングの基 理解する。	C言語によるプ 礎から上級まで	ロ C言語の文法とC言語によるプロを グラミングの基礎から上級までを 理解できない。		
評価項目(イ)			やキュー、リス データ構造を理例で実現でき、され	記列や構造体、および、スタックやキュー、リストなどの基本的なデータ構造を理解し、プログラムで実現でき、さらに、様々なデータ管理に利用できる。		ク 配列や構造体、および、スタックな やキュー、リストなどの基本的な データ構造を理解てきない。			
評価項目(ウ)			同一の問題に対し 夕構造によって	ノ、選択したデー フルゴリズムが変 理解し、問題を解		- 同一の問題に対し、選択したデー 変 夕構造によってアルゴリズムが変 化しうることを理解できない。			
 学科の?	到達目標」	項目との関係	<u></u>						
本校教育	目標 ① もの	かづくり能力							
教育方 <u>》</u> 概要		ナータ種語	を用いた実用的な	、アノレレ リスハとV	ısual(:++	による動的結果	本科目では、C言語の文法、探索や整、リストを学ぶ。そして、アルゴリズさらに、上級Cプログラミングとして出力方法を学習する。本科は別金開		
概要 受業の進 注意点	め方・方法	テータ構造 設されてい つけるもの プログラミ して受講す	を用いた美用的なる「上級 C プロク」である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい	『アルコリスムとV 『ラミング演習B』 	ısualC++ とタイアップして 	による動的結果 、講義と演習を 	出刀方法を子習する。 本科目は別逮開 交互に実施、プログラミング能力を身(
既要 受業の進 主意点 選択必(修の種別	テータ構造 設されてい つけるもの プログラミ	を用いた美用的なる「上級 C プロク」である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい	『アルコリスムとV ブラミング演習B」 	ısualC++ とタイアップして 	による動的結果 、講義と演習を 	出刀方法を子習する。 本科目は別逮開 交互に実施、プログラミング能力を身(
既要 受業の進 主意点	修の種別	アータ構造設されていつけるもの プログラミして受講す・旧カリ科目	を用いた美用的なる「上級Cプロク」である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい	『アルコリスムとV ブラミング演習B」 	ısualC++ とタイアップして 	による動的結果 、講義と演習を ることが望まし と。	出力方法を子省する。本科日は別速開交互に実施、プログラミング能力を身に交互に実施、プログラミング能力を身にいる。		
既要 受業の進 主意点 選択必何	修の種別	アータ構造設されていつけるもの プログラミして受講す・旧カリ科目	を用いた美用的なる「上級 C プロク」である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい	『アルコリスムとV ブラミング演習B」 	ısualC++ とタイアップして 	(こよる動的結果、講義と演習を) ることが望ました。 過ごとの到達目	出力方法を子習する。本科目は別逮用交互に実施、プログラミング能力を身にない。上級Cプログラミング演習Bを並行い。上級Cプログラミング演習Bを並行		
概要 受業の進 注意点 選択必何	修の種別	アータ構造 設されていつけるもの プログラミして受講す・旧カリ科目 週	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上である。 ングI,IIA,IIB、上である。	『アルコリスムとV ブラミング演習B」 	ısualC++ とタイアップして ·グAを修得してい ·コンを持参するこ	(こよる動的結果、講義と演習を) ることが望ました。 過ごとの到達目	出力方法を子習する。本科目は別述院交互に実施、プログラミング能力を身のない。 というでは、アログラミング能力を身のない。上級Cプログラミング演習Bを並行		
概要 受業の進 注意点 選択必何	修の種別	テータ構造 設されての プログラミ して受講す ・旧カリ科目 週 摂	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上である。 ングI,IIA,IIB、上である。	ドアルコリスムと V ブラミング演習 B」 □級 C プログラミン N。適宜 ノートパソ	ısualC++ とタイアップして ·グAを修得してい ·コンを持参するこ	による動的結果、講義と演習を注 ることが望ました。 過ごとの到達目 で言語の文法と 理解している。	出力方法を子習する。本科目は別速開交互に実施、プログラミング能力を身 のでは、アログラミングでは力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行		
概要 受業の進 注意点 選択必何	修の種別	テータ構造 設されての プログラミ して受講す ・旧カリ科目 週 授 1週 シ 2週 1.	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、」 ることが望ました 1名 ・ラバスを用いた摂	(アルコリスムと V ブラミング演習 B」 二級 C プログラミン N。 適宜 ノートパソ 受業内容の説明、オ Jり当て	ısualC++ とタイアップして ·グAを修得してい ·コンを持参するこ	による動的結果 講義と演習を注 ることが望まし と。 週ごとの到達目 で言語の文法と 理解している。 1次元配列の動	出力方法を子習する。本科目は別速屏 交互に実施、プログラミング能力を身 い。上級Cプログラミング演習Bを並行		
既要 受業の進 主意点 選択必何	修の種別	テータ構造 シャイスもの プログラミ して受講す ・旧カリ科目 週 授 1週 シ 2週 1:33週 基	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい 名	(アルコリスムと V デラミング演習 B」 上級 C プログラミン い。 適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表	ISUATE HE A TE HE A	はよる動的結果 講義と演習を注 ることが望ました。 と。 過ごとの到達目 で言語の文法と 理解している。 1次元配列の動 基本的なデータ	出力方法を子習する。本科目は別述所交互に実施、プログラミング能力を身にない。上級Cプログラミング演習Bを並行い。上級Cプログラミング演習Bを並行とここ語によるプログラミングの基礎を的割り当てを理解している。		
既要 受業の進 主意点 選択必何	修の種別	テータ構造いの つける プログラミ して受講す ・旧カリ科 週 1週 シ 2週 1: 3週 基 4週 基	を用いた美用的なる「上級Cプロク」である。 ングI,IIA,IIB、上である。 シグI,IIA,IIB、上である。 ジステムを関 実内容 ジスを用いた技 次元配列の動的割 本的なデータ構造 ないなデータ構造	(アルコリスムと V ブラミング演習 B」 二級 C プログラミン N。 適宜 ノートパソ 受業内容の説明、オ Jり当て	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる動的結果 講義と演習を注 ることが望ました。 と。 過ごとの到達目 で言語の文法と 理解している。 1次元配列の動 基本的なデータ ている。	出力方法を子習する。本科目は別述所交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行 は、こと級Cプログラミング演習Bを並行 は、ことでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		
既要 受業の進 主意点 選択必何	修の種別	テータ構造いの つける プログラミ して受講す ・旧カリ科 週 1週 シ 2週 1: 3週 基 4週 基 5週 権し	で用いた美用的なる「上級Cプロク」である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ました 全人内容 である。 シグIのである。 シグIのである。 シグIのである。	(アルコリスムと V プラミング演習B」 二級 C プログラミン い。適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表 造(2): スタック 基本的なデータ構	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	選ぶとの到達目 ことが望ました。 過ごとの到達目 で言語の文法と 理解している。 1次元配列の動 基本的なデータ でいる。 基本的なデータ	出力方法を子首する。本科目は別透開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行 日標 とC言語によるプログラミングの基礎を 的割り当てを理解している。 P構造である表を理解している。 P構造であるスタック、キューを理解し P構造であるスタック、キューを理解し		
既要 受業の進 主意点 選択必何	修の種別	テータれてもの プログラ講す ・旧カリ科 週 1週 5 3週 4 4週 4 6週 6	を用いた美用的なる「上級Cプロク」である。 ングI,IIA,IIB、上である。 ングI,IIA,IIB、上である。 ※大内容 シブバスを用いたが 次元配列の動的割 は本的なデータ構造 は本的なデータ構造 は本的なデータ構造	(アルコリズムと V ブラミング演習 B」 二級 C プログラミン 1、適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表 造(2): スタック 基本的なデータ様	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる動的結果 講義と演習を注 ることが望ました。 ることが望ました。 と。 の文法と 理解している。 1次元配列の動 基本的なデータ ている。 基本的なデータ をある。	出力方法を子質する。本科目は別速開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行い。上級Cプログラミング演習Bを並行の書標とC言語によるプログラミングの基礎を的割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。 の構造であるスタック、キューを理解している。 の構造である線形リストを理解している。		
既要 受業の進 主意点 選択必(修の種別	テータれても プログラ講す ・旧カリ科目 週 1週 2週 11 3週 4週 4週 4週 5週 6週 88 7週 88	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい 名 変 変 変 変 の の の の の の の の の	(アルコリズムと V ブラミング演習 B」 二級 C プログラミン 1、適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表 造(2): スタック 基本的なデータ様	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる動的結果、講義と演習を注意というできます。 ことが望ましたというできませた。 こことの到達目 C言語している。 1次元配列の動基本的なデータ 基本的なデータ 基本的なデータ よりながった。 線形リストの振りな構造体、配列や構造体、	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。 い。上級Cプログラミング演習Bを並行 は、ことではなるプログラミングの基礎を 的割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。 の構造であるスタック、キューを理解している。 の構造である線形リストを理解している。 は本操作を理解している。 および、スタックやキュー、リストな		
競要 受業の進 注意点 選択必付 受業計画	修の種別	テータれても データれても プロで受料 ・旧カリ科目 週 1週 2週 11 3週 4週	を用いた美用的なる「上級Cプロクである。」 ングI,IIA,IIB、上である。 ングI,IIA,IIB、上である。 シグI,OIA,IIB、上である。 シグI,OIA,IIB、上である。 シグI,OIA,IIB、上である。 芝葉内容 シラバスを用いたが、 次元配列の動的割 は本的なデータ構造 は本的なデータは表現	(アルコリズムと V ブラミング演習 B」 二級 C プログラミン 1、 適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当 て 造(1):表 造(2): スタック 基本的なデータ構 操作 操作	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる動的結果による動物を表します。 選ごとの到達をできることが望ました。 選びとのの文はるの文はるの文はるの文はる。 1次元配列の動基本的なデータである。 基本的なデータである。 基本のなデータである。 線形リストのが 線形リストのが 線形リストのができない。 配列を基本さらに、	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。 い。上級Cプログラミング演習Bを並行 は、ことではなるプログラミングの基礎を 的割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。 の構造であるスタック、キューを理解している。 の構造である線形リストを理解している。 は本操作を理解している。 および、スタックやキュー、リストな		
競要 受業の進 注意点 選択必付 受業計画	修の種別	テータれる データれる プロで受料 ・I日カリ科目 週 1週 2週 11 3週 4週	を用いた美用的な る「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上 ることが望ましい 引名 深元配列の動的割 体的なデータ構造 体のなデータ構造 は本的なデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造 は本りなデータ構造	ボアルコリズムと V ブラミング演習BJ 二級 C プログラミン 10 当て 造(1):表 造(2): スタック 基本的なデータ様 操作 操作、発展	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる動物語を記している。 過ごとの到達目のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 をできなが、 は、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。 い。上級Cプログラミング演習Bを並行 は、ことでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また		
競要 受業の進 注意点 選択必付 受業計画	修の種別	テーマれる データれる プロフリス	を用いた美用的な る「上級Cプロクである。 ングI,IIA,IIB、上 ることが望ましい 3名 経業内容 シラバスを用いたが 次元配列の動的割 体のなデータ構造 体とポインタ、 スト ポリストの基本が ポリストの応用が い間試験 で別データ構造の可	ボアルコワスムと V ブラミング演習BJ 二級 C プログラミン 、適宜 ノートパン 受業内容の説明、オ り当て 造(1):表 造(2):スタック 基本的なデータ構 操作 操作 操作、発展 可視化 可視化	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	は、講義と が望ました。 過ごとの到達目 こことが望ました。 過ごとの到達目 に言語している動きをできます。 は、一方では、一方では、一方できりです。 は、アラストのが、できりできる。 は、アラストのが、できりできない。 に、これでは、アラストのが、できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できりできない。 できない。 できりできない。 できなない。 できななななななななななななななななななななな。 できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。 い。上級Cプログラミング演習Bを並行 は、ことでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		
競要 受業の進 注意点 選択必付 受業計画	修の種別	Part Part	で表用いた美用的な る「上級Cプロク である。 ングI,IIA,IIB、上 ることが望ましい 3名 とが望ましい 3名 深元配列の動的割 本的なデータ構造 体とポインタ、 以ストの基本提 ボリストの応用担 ・問試験 のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の のアータ構造の	ボアルコワズムと V ボラミング演習BJ -級 C プログラミン ・ 適宜 ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て き(1):表 き(2):スタック 基本的なデータ構 操作、発展 可視化 リズムの可視化	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	は、講義と 割り 記述 という できる という という できる という という できる という という できる という という という はい かい	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。上級Cプログラミング演習Bを並行い。上級Cプログラミングの基礎を内割り当てを理解している。 「対してある表を理解している。」 「対してある表を理解している。」 「対してある表を理解している。」 「対してある。」 「対してある。」 「対している。」 「対している。 「対している。」 「対している。」 「対している。」 「対している。」 「対している。 「対している。」 「対している。」 「対している。」 「対している。 「対している。」 「対している、対している。 「対している、対している。」 「対している、対している。」 「対している、対している。」 「対している、対している。」 「対している、対している、対している。」 「対している、対している。」 「対している、対している、対している。 「はいる、対している、対している、対している。 「はいるいる、対しているいるいる、対しているいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる		
既要 受業の進 主意点 選択必何受業計画	修の種別	Part Part	を用いた美用的な る「上級Cプロク である。 ングI,IIA,IIB、上 ることが望ましい 3名 2業内容 である。 である。 シグI,IIA,IIB、上 ることが望ましい 3名 次元配列の動的割 体かなデータ構造 はなトとポインタ、 はなトの応用指 いけ、ストの応用指 いけ、ストの応用指 いけ、ストの応用指 の可に対し、 の可に対し	ドアルコワスムと V ブラミング演習 B J A S S S S S S S S S S S S S S S S S S	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	はよる。 選素を記述する。 過ごとの到達目 とことの の可文法と 理解していない。 1次元的ながデータ 基本ののながデータ 基本ののなが、データ 線形リリや基本で、 線形リリや基本でできる。 線形リリや基本でできる。 にごいるのが、アータのが、 でできる。 にでる。 にできる。 にで	出力方法を子質する。本科目は別速解交互に実施、プログラミング能力を身になる。上級Cプログラミング演習Bを並行い。上級Cプログラミングの基礎をとて言語によるプログラミングの基礎を的割り当てを理解している。 「構造である表を理解している。」 「構造である表を理解している。」 「構造である線形リストを理解している。」 「本操作を理解している。 「および、スタックやキュー、リストなデータ構造を理解し、プログラムで実現様々なデータ管理に利用できる。」 「もの可視化を実現できる。」 「もの可視化を実現できる。」 「カイズムの可視化を実現できる。」 「カイズムの可視化を実現できる。」 「カイズムの可視化を実現できる。」		
既要 受業の進 主意点 選択必何 受業計画	修の種別 画 3rdQ	Part	である。 である。 ングI,IIA,IIB、上ることが望ましい 名である。 ジグI,IIA,IIB、上ることが望ましい 名のである。 一次である。 一次であるでは、 一次では、 「のではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	(アルコワス) ボラミング演習BJ ニ級Cプログラミン 、適宜ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表 造(2):スタック 基本的なデータ構 操作、発展 可視化 可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 関造の可視化	I S U a I C + + とタイアップして グAを修得してい コンを持参するご ペインタ復習	は、講義と 割り 記述 ました まました ままとい との 到達 ました とい の 到達 ました とい の の 立 い の の 立 い の の 立 い の の 立 い の の 立 い の が な ぶ データ 基本 い の れ の が な ぶ データ 基本 い な スト の が で き が ア ノ スト を か の が で き で う 夕 構 道 探索 ・ 整 列 ア ノ 線 形 リスト データ 解 ア ノ スト の が な に 、 配 列 デ ・ 整 列 ア ノ 線 ア ノ スト ご ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はカカ法を子首する。本科目は別を開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行した。上級Cプログラミングの基礎を含まる表を理解している。 「特達である表を理解している。 「特達であるスタック、キューを理解している。」 「特達である線形リストを理解している。」 「特達である線形リストを理解している。」 「特達であるなが、スタックやキュー、リストない。」 「中夕構造を理解し、プログラムで実践を理解し、プログラムで実践を理解し、プログラムで実践を可視化を実現できる。」 「もなデータ管理に利用できる。」 「カスムの可視化を実現できる。」		
既要 受業の進 主意点 選択必何 受業計画	修の種別 画 3rdQ	Part	を用いた美用いた美用のである。 ネートンのである。 ングI、IIIA、IIIB、上である。 ングI、IIIA、IIIB、上である。 シグI、IIIA、IIIB、上である。 三される 一である。 一である。 一である。 一次である。 「はいいではないでは、 はいいでは、 はいいではいいでは、 はいいでは、 はいいではいいでは、 はいいでは、 はいいではいいでは、 はいいではいいでは、 はいいではいいではいいでは、 はいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいい	(アルコワス) ボラミング演習BJ ニ級Cプログラミン 、適宜ノートパン 受業内容の説明、オリウ当て 造(1):表 造(2):スタック 基本的なデータ構 操作、発展 可視化 可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 リズムの可視化 関造の可視化	1 S U a 1 C + + とタイアップして グタイアップして グコンを持参するご ペインタ復習 ス、キュー 造造(3):線形	はよる。 選達を記される。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 では、ことが望ました。 ないののでは、ことができた。 ないののでは、ことができた。 ないののでは、ことができた。 では、ことがでは、ことがでは、ことができた。 では、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことができた。 では、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことができた。 では、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことがでは、ことができた。 では、ことがで	は刀方法を子賀する。本科目は別途開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行して言語によるプログラミングの基礎での割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。の構造である表を理解している。の構造である線形リストを理解している。を操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 はなび、スタックやキュー、リストが様々なデータ管理に利用できる。 はの可視化を実現できる。 はの可視化を実現できる。 はの可視化を実現できる。 いゴリズムの可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。		
競業の進 注意点 選択必付 受業計画	修の種別 画 3rdQ	Part	である。 「本面」になって、 「本面」になって、 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるです。 「大型」にはいるでする。 「大型」にはいるできます。 「大型」にはいるできまするできます。 「大型」にはいるできまするできます。 「大型」にはいるできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまするできます	ボアルコノ ボラミング演習BJ 一級Cプログラミン 一級Cプログラミン 一級Cプログラミン 一般ででしましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	1 S U a 1 C + + とタイアップして グタイアップして グコンを持参するご ペインタ復習 ス、キュー 造造(3):線形	による。 選達とが望ました。 過ご語しているのので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	は刀方法を子賀する。本科目は別透開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並んで言語によるプログラミングの基礎を的割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。の構造である表を理解している。の構造である線形リストを理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 はなび、スタックやキュー、リストが様々なデータ管理に利用できる。 はの可視化を実現できる。 はの可視化を実現できる。 は近リズムの可視化を実現できる。 しゴリズムの可視化を実現できる。 しばりズムの可視化を実現できる。 との構造の可視化を実現できる。 との構造の可視化を実現できる。		
受業の進き意 必受 登場 と 選択 送付	修の種別 画 3rdQ 4thQ	Part	である。 「本面」になって、 「本面」になって、 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるである。 「大型」にはいるです。 「大型」にはいるでする。 「大型」にはいるできます。 「大型」にはいるできまするできます。 「大型」にはいるできまするできます。 「大型」にはいるできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまするできます	はアルコク演習BJ デラミング演習BJ 一級Cプログラミン 一級Cプログラミン 一級ででである。 一般でである。 一般でである。 一般では、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、またないでは、大きないでは、またないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	1 S U a 1 C + + とタイアップして グタイアップして グコンを持参するご ペインタ復習 ス、キュー 造造(3):線形	による。 選達とが望ました。 過ご語しているのので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	は刀方法を子習する。本科目は別述原交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並らい。上級Cプログラミングの基礎での割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。の構造である表を理解している。の構造である表を理解している。の構造である線形リストを理解している。ものはなび、スタックやキュー、リストが様々なデータ管理に利用できる。もの可視化を実現できる。もの可視化を実現できる。しゴリズムの可視化を実現できる。しゴリズムの可視化を実現できる。してり構造の可視化を実現できる。してり構造の可視化を実現できる。		
受業の進き意 必受 登場 と 選択 送付	修の種別 画 3rdQ 4thQ	Part	である。 である。 ングI、IIIA、IIIB、上であるである。 ングI、IIIA、IIIB、上である。 ングI、IIIA、IIIB、上である。 マステングI、IIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIIA、IIIB、上である。 マステングI、I、IIIA、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA によっては、IIIA	はアルコク演習BJ デラミング演習BJ 一級Cプログラミン 一級Cプログラミン 一級ででである。 一般でである。 一般でである。 一般では、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、スタックをは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、大きなの可視では、できないでは、またないでは、大きないでは、またないでは、大きないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	S u a C + + + とタイアップして	による。 選達とが望ました。 過ご語しているのので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このので、別では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	は刀方法を子賀する。本科目は別途開交互に実施、プログラミング能力を身い。上級Cプログラミング演習Bを並行して言語によるプログラミングの基礎での割り当てを理解している。 の構造である表を理解している。の構造である表を理解している。の構造である線形リストを理解している。を操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 は本操作を理解している。 はなび、スタックやキュー、リストが様々なデータ管理に利用できる。 はの可視化を実現できる。 はの可視化を実現できる。 はの可視化を実現できる。 いゴリズムの可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。 ・ク構造の可視化を実現できる。		

	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	25	50	25	100
専門的能力	25	50	25	100